



2021年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月13日

上場会社名 富士精工株式会社

上場取引所 名

コード番号 6142 URL <http://www.c-max.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 龍城

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 近藤 規央

TEL 0565-53-6611

四半期報告書提出予定日 2021年1月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の連結業績(2020年3月1日～2020年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	12,560	20.4	69		47	95.9	61	
2020年2月期第3四半期	15,783	6.3	964	11.6	1,146	15.3	701	79.3

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 278百万円 (%) 2020年2月期第3四半期 632百万円 (81.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	16.74	
2020年2月期第3四半期	191.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第3四半期	25,268	20,154	71.4	4,919.34
2020年2月期	26,543	20,652	69.3	5,014.72

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 18,042百万円 2020年2月期 18,393百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期		25.00		25.00	50.00
2021年2月期		25.00			
2021年2月期(予想)				15.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

配当予想の修正につきましては、本日(2021年1月13日)公表いたしました「配当予想の公表に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	17,500	18.2	160		0		90	24.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期3Q	4,306,778 株	2020年2月期	4,306,778 株
期末自己株式数	2021年2月期3Q	639,105 株	2020年2月期	638,860 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期3Q	3,667,809 株	2020年2月期3Q	3,668,202 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により急激な悪化を見せ、当社グループの受注環境及び生産態勢に影響を及ぼしております。また、米中の貿易摩擦などにより先行きの不透明さは前連結会計年度から継続している状況にあり、中国子会社をはじめとする当社グループの受注環境に影響を及ぼしております。

わが国経済におきましても、国内の自動車生産台数は回復傾向にあり、前年同月比を上回る水準にまで回復しつつあるものの、本格的に需要が回復するには時間がかかる状況となっております。

当社グループの主要な取引先であります自動車産業界におきましては、電動化の推進、自動運転や安全装備などの技術開発への投資は継続されるものの、自動車販売台数は世界的に減少している状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、事業の継続及び従業員の安全を最優先事項とし、徹底した新型コロナウイルスの感染防止策を行ってまいりました。また、部門別採算制度を通じた収益性向上に向けた取り組みを継続し、従業員全員が一丸となって売上最大、経費最小を意識した活動を行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は12,560百万円（前年同四半期比20.4%減）、営業損失は69百万円（前年同四半期は964百万円の営業利益）、経常利益は47百万円（前年同四半期比95.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は61百万円（前年同四半期は701百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①日本

当地域におきましては、海外経済の減速に加え、新型コロナウイルスの感染拡大により自動車販売が低迷し、工具、治具等の売上が低調に推移したことなどにより、売上高は6,204百万円（前年同四半期比25.1%減）となりました。

また、経費最小活動により売上原価や販売管理費を圧縮したものの、生産調整による固定費負担増などにより、セグメント損失は184百万円（前年同四半期は574百万円のセグメント利益）となりました。

②アジア

当地域におきましては、中国においては、新型コロナウイルスの感染拡大により失速していた自動車生産に回復傾向が見られるものの、前連結会計年度から続く米中の貿易摩擦がアジア全体に波及し、アジア子会社全てでその影響を受ける形となり、売上高は3,671百万円（前年同四半期比16.1%減）となりました。

また、労務費高騰などにより売上原価が増加していることに加えて、生産調整による固定費負担増などにより、セグメント損失は87百万円（前年同四半期は199百万円のセグメント利益）となりました。

③北米・中米

当地域におきましては、自動車産業界の積極的設備投資がピークアウトし、また、米中の貿易摩擦の影響が加わり、国内生産が低調に推移したことから、売上高は1,201百万円（前年同四半期比30.9%減）となりました。

また、新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の制限などの影響により、収益性が悪化したことなどにより、セグメント利益は38百万円（前年同四半期比60.6%減）となりました。

④オセアニア

当地域におきましては、断熱材の需要が堅調に推移したことに加えて、新型コロナウイルス感染拡大による食品輸送の需要増加を受けて、国内食品輸送に使用される保冷剤の需要が急速に高まったことなどにより、売上高は1,103百万円（前年同四半期比17.7%増）となりました。

また、材料費や経費などの売上原価を抑制したことなどにより、セグメント利益は88百万円（前年同四半期比116.1%増）となりました。

⑤その他

当地域におきましては、売上高は380百万円（前年同四半期比16.0%減）、セグメント利益は10百万円（前年同四半期比76.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は25,268百万円となり、前連結会計年度末と比較して、1,274百万円減少いたしました。これは主に、有価証券が754百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が631百万円、現金及び預金が557百万円、電子記録債権が513百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は5,114百万円となり、前連結会計年度末と比較して、776百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が386百万円、短期借入金が63百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は20,154百万円となり、前連結会計年度末と比較して、497百万円減少いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が269百万円、利益剰余金が263百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は71.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、2021年2月期の通期連結業績予想につきましては、2021年1月13日公表の「2021年2月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日における入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって、予想と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,946,669	7,389,443
受取手形及び売掛金	3,727,863	3,096,715
電子記録債権	1,185,916	672,570
有価証券	371,766	1,126,751
商品及び製品	1,680,538	1,529,222
仕掛品	585,574	632,815
原材料及び貯蔵品	470,292	458,986
その他	296,988	477,890
貸倒引当金	△67,756	△71,112
流動資産合計	16,197,852	15,313,284
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,017,406	1,868,837
機械装置及び運搬具(純額)	4,287,010	4,229,724
土地	1,400,471	1,440,714
建設仮勘定	115,205	29,641
その他(純額)	213,161	197,795
有形固定資産合計	8,033,255	7,766,714
無形固定資産	266,381	243,500
投資その他の資産		
投資有価証券	1,398,546	1,330,363
長期貸付金	4,510	4,730
繰延税金資産	484,809	458,533
その他	189,890	183,492
貸倒引当金	△31,758	△31,758
投資その他の資産合計	2,045,999	1,945,362
固定資産合計	10,345,635	9,955,577
資産合計	26,543,488	25,268,861

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,581,771	1,195,549
短期借入金	735,423	672,251
1年内返済予定の長期借入金	119,866	109,644
未払法人税等	111,851	111,845
賞与引当金	130,422	308,484
役員賞与引当金	13,130	—
その他	1,685,939	1,286,880
流動負債合計	4,378,405	3,684,655
固定負債		
長期借入金	57,454	76,853
繰延税金負債	5,656	—
退職給付に係る負債	1,258,665	1,164,203
その他	190,989	188,706
固定負債合計	1,512,766	1,429,762
負債合計	5,891,171	5,114,418
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,882,016	2,882,016
資本剰余金	4,162,607	4,162,614
利益剰余金	13,562,331	13,298,775
自己株式	△918,014	△918,349
株主資本合計	19,688,939	19,425,056
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	255,033	306,675
為替換算調整勘定	△313,153	△583,134
退職給付に係る調整累計額	△1,237,222	△1,106,077
その他の包括利益累計額合計	△1,295,342	△1,382,537
非支配株主持分	2,258,719	2,111,923
純資産合計	20,652,316	20,154,443
負債純資産合計	26,543,488	25,268,861

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
売上高	15,783,367	12,560,995
売上原価	12,000,177	9,845,522
売上総利益	3,783,189	2,715,472
販売費及び一般管理費	2,818,604	2,784,919
営業利益又は営業損失(△)	964,585	△69,446
営業外収益		
受取利息	42,233	31,923
受取配当金	24,544	20,583
持分法による投資利益	87,494	—
技術指導料	31,028	52,214
その他	63,752	81,438
営業外収益合計	249,051	186,160
営業外費用		
支払利息	9,156	7,470
売上割引	1,130	695
持分法による投資損失	—	46,020
為替差損	56,459	15,081
その他	602	375
営業外費用合計	67,349	69,643
経常利益	1,146,288	47,069
特別利益		
固定資産売却益	22,101	992
厚生年金基金代行返上益	28,291	—
特別利益合計	50,393	992
特別損失		
固定資産除売却損	5,480	10,209
投資有価証券評価損	—	34,839
その他	116	—
特別損失合計	5,596	45,048
税金等調整前四半期純利益	1,191,084	3,013
法人税、住民税及び事業税	429,835	92,544
法人税等調整額	5,873	694
法人税等合計	435,708	93,239
四半期純利益又は四半期純損失(△)	755,375	△90,226
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	54,179	△28,820
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	701,195	△61,405

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	755,375	△90,226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	96,826	51,641
為替換算調整勘定	△326,236	△372,271
退職給付に係る調整額	105,588	133,139
持分法適用会社に対する持分相当額	1,224	△1,121
その他の包括利益合計	△122,597	△188,612
四半期包括利益	632,778	△278,838
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	611,539	△148,600
非支配株主に係る四半期包括利益	21,238	△130,238

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社グループの主要な取引先であります自動車産業界におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により当連結会計年度の第2四半期連結会計期間以降、一時的に需要が低下しております。一部地域では回復の兆しを見せ始めているものの、国内外とも経済活動の本格的な回復には至っていない状況にあります。

このような状況においては、感染の拡大が収束し、本格的な経済活動が再開することにもない、翌連結会計年度以降につきましては、当該感染症が拡大する前の水準に概ね回復していくものと仮定し、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等にかかる会計上の見積りを行っております。

なお、この仮定は、今後の当該感染症の収束時期に左右されることから、将来における実績は、仮定に基づく見積りから乖離する可能性があります。

(新型コロナウイルス感染症に関するその他の事項)

新型コロナウイルス感染症の影響にともない、休業を実施したことにより支給した休業手当等について、雇用調整助成金の特例措置の適用を受け、助成金の支給見込額79,380千円を販売費及び一般管理費ならびに当期製造費用の給料手当から控除しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	アジア	北米・中米	オセアニア	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	8,279,247	4,374,535	1,738,384	937,660	15,329,828	453,538	15,783,367	—	15,783,367
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,753,927	589,088	3,369	—	2,346,385	14,960	2,361,346	△2,361,346	—
計	10,033,175	4,963,623	1,741,754	937,660	17,676,214	468,499	18,144,713	△2,361,346	15,783,367
セグメント利益	574,176	199,119	98,119	40,805	912,220	44,123	956,344	8,240	964,585

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	アジア	北米・中米	オセアニア	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	6,204,295	3,671,258	1,201,240	1,103,369	12,180,163	380,831	12,560,995	—	12,560,995
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,405,653	458,588	2,780	—	1,867,022	7,840	1,874,862	△1,874,862	—
計	7,609,948	4,129,847	1,204,021	1,103,369	14,047,186	388,671	14,435,858	△1,874,862	12,560,995
セグメント利益又は 損失(△)	△184,081	△87,031	38,666	88,191	△144,254	10,608	△133,645	64,199	△69,446

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。